

訪問看護で最上位区分に指定 開業医やケアマネとの連携進める

重症者や終末期ケア体制強める

医療法人社団玄同会（福山市駅家町上山守203、小島敬太郎理事長、電084・976・1351）は、運営する「訪問看護ステーションこばたけ」（井上はる美管理者）で創傷管理や栄養・水分管理などの特定行為研修を修了した看護師を配置したことで、現行制度

において最上位区分の「機能強化型1」に指定された。指定は県内13か所目で県東部地区では初めて。

同訪問看護ステーションではALSやパーキンソン病などの難病や終末期患者などの受け入れ、緊急時の24時間対応、医療、介護と連携した医療サービスを提供している。看護師の助

迫幸子さんが、特定行為看護師（創傷管理、点滴栄養管理）の研修を修了したことで、申請し9月1日に指定された。医師の診察のもと、寝たきりの患者の床ずれなどの創傷管理や輸液が必要な患者の栄養や水分管理など対応の幅を広げた。

所在地は「小島病院」内に設置しており、地域連携室や居宅介護事業所と同じスペースで業務を

行うことで情報を共有。地域の開業医やケアマネジャーなどとは電話・面談、ICT（福山市医師会のシステム）を活用し、速やかに情報を共有。看護師に加え、理学療法士や作業療法士のほか、嚥下機能などをケアするため、

言語聴覚士も訪問リハビリにも対応している。在宅医療のニーズが高まるなか、「今まで以上に、重症者や終末期への支援を充実させ、住み慣れた地域で安心して療養生活を続けられる体制づくりをさらに進めたい」と話した。

お知らせ

10日間に10万人が読む雑誌 **+plus**

経済リポート

URL/ www.keizai.info
www.keizai.co.jp
 Mail/ info@keizai.co.jp

2026 10.1 1928 号

2026年（令和8年）10月1日発行（毎月1日・15日・28日発行）19731部（税込） 年 7月27日 岡山県印刷製本協会

訪問看護ステーションこばたけ
掲載されました！

2026年9月1日より「機能強化型1」に指定